

TK - 9611SI 使用説明書

(リレーボード)

シリアルインターフェイスを採用することで配線を簡略化したTK - 9600専用リレーボードです。

特長

- ・1A(定格)のリレー(2c)を8回路搭載しています。
- ・ガラスエポキシ基板を使用しておりますので、高信頼性です。
- ・小型設計(90mm×60mm)です。
- ・当社DTMF製品(TK - 9600)に直接接続できます。

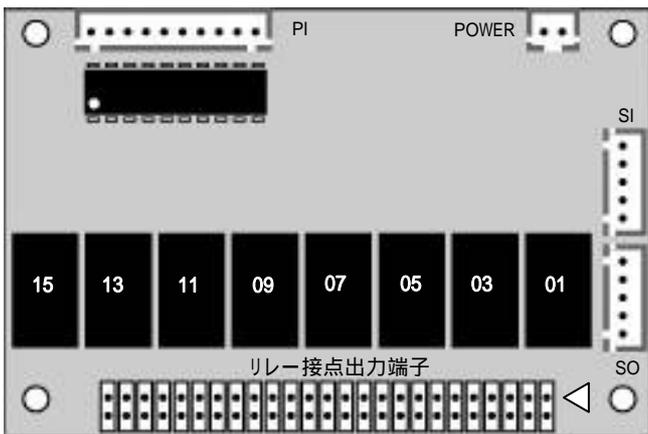
仕様

- ・電源電圧……………DC9～DC15V
- ・消費電流……………240mA(最大)
- ・出力容量……………AC30V 0.5A(抵抗負荷)、またはDC30V以下 1A(抵抗負荷) 0.2A(誘導負荷)
- ・寸法……………90×60(mm)

付属品

- ・基板用スペーサ…4
- ・シリアル増設コード…1
- ・リレー接点出力コネクタハウジング(1.27ピッチフラットケーブル対応)…1

基板概観図



【図1】

コネクタについて

【表1】電源入力

POWER	ピン番号	信号名
	1	電源入力 D9V～DC15V
	2	GND

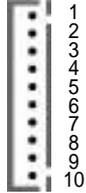
【表2】シリアルデータ入力

SI	用途
	シリアルデータの入力で シリアルデータの出力に接続

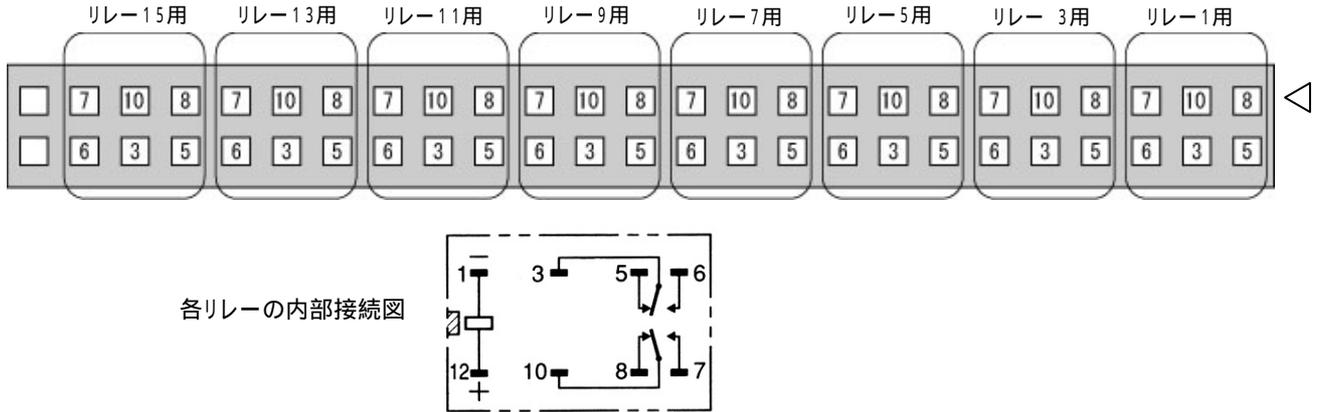
【表3】シリアルデータ出力

SO	用途
	シリアルデータの出力で シリアルデータの入力に接続

【表4】リレーコイル出力

PI	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	1	電源出力	6	リレー09コイルドライブ出力
	2	リレー01コイルドライブ出力	7	リレー11コイルドライブ出力
	3	リレー03コイルドライブ出力	8	リレー13コイルドライブ出力
	4	リレー05コイルドライブ出力	9	リレー15コイルドライブ出力
	5	リレー07コイルドライブ出力	10	GND

【図2】 リレー接点出力



配線について

本ユニットでは、【図1】のように電源入力、シリアルデータ入・出力、リレーコイル出力、リレー接点出力を別々のコネクタに分けています。以下に、コネクタごとの配線方法について説明します。

電源入力の配線

電源はシリアル入力コネクタから供給されますので配線の必要はありません。

シリアルデータ配線

DTMFステーション(TK - 9600)の増設制御出力(CN4)と本ユニットのSIコネクタを付属のシリアル増設コードで接続します。本ユニットを複数連結する場合は、SOコネクタと次のボードのSIコネクタをシリアル増設コードで接続していきます。

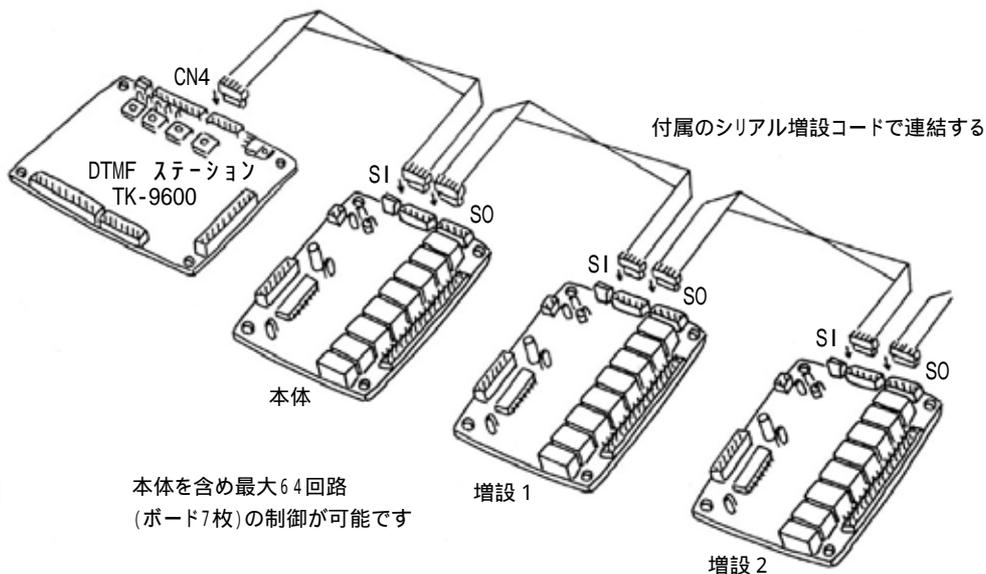
リレーコイル出力の配線

リレーコイルの端子がそのまま出力されています。外部にモニター用のLED等をつける場合などに使用できます。

リレー接点出力の配線

【図2】に各リレーに対応する接点を示します。

結線実例



【図3】 本体を含め最大64回路 (ボード7枚)の制御が可能です